

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

## 山岳辺境文化セミナー2013 開催

### 挑戦し続ける想い 竹内洋岳氏

10月19日 広島市西区民文化センター

10月19日(土)、広島市西区民文化センターでプロ登山家竹内洋岳氏を講師として、第21回山岳辺境文化セミナーが開催された。演題は「挑戦し続ける想い」で、日本人初となる8,000m峰14座完登の軌跡について語った。

2007年にパキスタンのガッシャブルムII峰(8,053m)で雪崩に巻き込まれ、腰椎破裂骨折の重傷を負い、生命の危機に陥ったが、各国登山隊のレスキューで奇跡的に生還した話には、聴衆者は固唾をのんで聞き入っていた。もはや登山の復帰は絶望的ともいわれたが、手術、リハビリにより、わずか1年後には、事故のあったガッシャブルムII峰へ再び挑み登頂した姿は多くの賞賛を受けた。

写真は当日配布された竹内洋岳氏が登頂した8,000m級14座のカードと竹内氏



2012年5月には世界に14座ある8,000m峰全14座の内14座目となるダウラギリへの登頂を果たし、日本人初となる8,000m峰14座完全登頂という偉業を成し遂げた。220名の聴衆に深い感銘を与えた。



写真は会場風景 (写真提供 仲井正美)



平成 25 年度山岳自然保護中央大会

### 第 37 回日本山岳協会・自然保護委員会総会報告

期日：2013・9・14～16

会場：埼玉県立小川げんきプラザ

主催：(公社) 日本山岳協会

主管：関東地区山岳連盟自然保護委員会

大会参加者：24 団体 102 人

## 「守ろう、伝えよう、山岳の自然と文化」



森 智昭 (ひこばえ)

山岳自然保護の集い中央大会が上記の通り開催されました。総会の概要について報告いたします。

### 来年度は広島で開催

#### 会長挨拶 (神崎忠男日本山岳連盟会長)

#### 長)

1、登山者のマナーとモラルの向上を図る。2、日本山岳協会、日本山岳会、高体連との連携を深めより充実した組織を目指す。3、登山者の登録制度をもっと確立していきたい。現在山岳団体に所属している登山者は約 10 万人でこれは登山人口の 1% に過ぎない。4、平成 26 年度に広島市においてアジア山岳連盟の創立 20 周年記念大会がある。その際に日本山岳協会自然保護委員会の総会を同時に行いたい。JAC、労山にも働きかけて協力して成功裏に終わらせたい。5、今年には日本山岳協会が公益法人化した記念すべき年であり山岳の自然環境の保全についてはいろんな課題を討議して山岳の自然と文化発見を通して、登山者が出来る保全や再生に向けた行動を考える集いとして。

続いて石倉自然保護委員会委員長、森下埼玉県山岳連盟会長、脇坂埼玉県環境部課長、笠原尾川町長のあ

いさつ、来賓祝辞があつて議題に入った。

#### 議 題

- 1、日本山岳協会自然保護委員会事業報告、事業計画
- 2、大会スローガンの説明
- 3、次期開催について (広島市)

写真は挨拶する

神崎忠男会長

(写真提供 森 智昭)



#### 総合セッション

参加 24 山岳連盟の代表より活動報告があつた。特色ある活動を掲げると次のとおりである。

#### 隣県との親善登山

- 1、一般の参加者を募集して登山道の清掃活動を行った。(茨城県)
- 2、一般の参加者を募集して自然観察会を実施。(群馬県)
- 3、隣県との親善登山 (自然保護委員との懇親)(埼玉県)
- 4、地質教室の開催 (東京都)
- 5、カタクリパトロール (御前山) 行政と連携して行った。補助金をもらっている。(東京都)
- 6、ポータブルトイレの普及活動 (東京都)
- 7、山岳 6 団体との自然環境連絡会への参加 (東京都)

#### 高山植物の保護など

- 8、行政、市民との連携によるゴミ持ち帰り運動の実施。平成 24 年度 22 回、参加数 936 人。県の助成金を財源として活動。(神奈川県)
- 9、自然再生活動として崩落跡の植生、荒廃登山道の補修、砂防柵工、防獣ネットの設置等。(神奈川県)
- 10、高山植物の保護を目的に「山岳レンジャー」を設置し各種調査結果を報告書として県に提出。平成 25 年度の自然保護委員登録 17 団体、129 人。(山梨県)

- 11、南アルプス高山植物保護ネットワーク静岡県山岳連盟、労山、高体連他 4 団体と協力体制を創り防鹿柵の設置及び補修。流出防止の柵設置。高山植物保護の啓蒙看板設置等の活動を実施。(静岡県)
- 12、10～11 月を自然保護月間として各山岳会に清掃登山を実施してもらう。(三重県)
- 13、貴重な植物の生育を阻害する樹木の除去作業。(大分県)

### 今後私たちが参考にしたい事項

#### スポンサーの発掘、子供たちの活動

- 1、行政との連携(補助金制度の活用)
- 2、スポンサーの発掘(金銭的、人的)  
(例: コカコーラ、大手スーパー、ヤクルト、アサヒビール、大手林業者、漁業組合等)
- 3、一般登山者との活動
- 4、子供達との活動

#### 自然保護委員会の設置

- 5、山岳連盟内部の組織確立(自然保護委員会の設置)

9 月 15 日

#### 個別セッション

下記 3 つの議題のいずれか選択

- A、利用者の負担・受益者負担
- B、資源・自然疲弊(福永出席)
- C、自然保護指導員の役割(森出席)

#### 公開イベント

- 1、芸能 小鹿野子供歌舞伎(見学)
- 2、講演

ツキノワグマを通して見た山岳自然(神奈川県公園協会秦野ビジターセンター館長長縄今日子氏)

知知夫国と嶽山(武武山)

(前日山協自然保護常任委員 浅見 豊氏)

「山はみんなの宝」憲章制定の経緯

(山の ECHO 代表 上 幸雄氏)

#### ナイトフォーラム

- 1、宇宙創成から現在の日本列島まで
- 2、星空ウォッチング 以上希望者のみ参加

9 月 16 日

#### エキスカッション

(台風 18 号のため中止)

- 1、両神山
- 2、高尾山
- 3、長瀬地質探勝

山の恵みを次代に引き継げるよう、  
今、私たちに出来ることをしていきましょう

#### 「山はみんなの宝」憲章

日本は、四方を海に囲まれた山国です。雪をいただいた遠い山から、身近な里山まで、山は私たちの故郷の風景として親しまれてきました。

写真は自然保護の集い総会風景(写真提供 森 智昭)



古くから日本人は、山を恐れ敬い、山のもたらす豊かな恵みに感謝して生きてきました。美しい日本の山は、世界に誇る私たちの共有財産であり、心のよりどころとなっています。

森林におおわれる山は、澄んだ空気と清らかな水をもたらし、多様な生きものとともに、私たちの生活を守っています。山の自然がおりなす四季の移ろいは、私たちに、やすらぎ、まなび、ふれあいの場を提供し、すこやかな体を育んできました。

この大切な山では、森林の荒廃、生態系の損傷、入山者の遭難など自然の保護と利用にかかわる様々な問題がおきています。このような山をめぐる課題に、私たちは真摯に向きあい、みずから考え行動しなければなりません。

このため、山の自然と文化を守り、山の恵みを次代に引き継ぐため、ここに「山はみんなの宝」憲章を定めます。

## 1、私たちは

山をうやまい、山にしたしみ、山の自然と文化を守り、つぎの世代に引き継ぎます。(私たちの責務)

## 1、私たちは

山のもたらす豊かな恵みに感謝し、山の自然環境を保全するための取組や費用について、応分の負担をします。(利用者負担)

## 1、私たちは

山のきびしい自然と謙虚に向きあい、安全な利用を心がけ、みずからの責任を自覚して行動します。

(自己責任)

## 1、私たちは

未来を担う子供たちとともに、山での楽しい自然体験を共有し、生きる力を育みます。(環境教育)

## 1、私たちは

地域の山ごとにルールとマナーが作られるよう、その取り組みを支持するとともに、適正な利用の普及啓発に努めます。(入山者の行動指針) 2013 年 6 月 27 日  
「山はみんなの宝」憲章選定委員会



写真は「山岳辺境文化セミナー」に集まった人達

2013・10・19 (写真提供 仲井正美)

## クライミング教室報告

### まず、言葉から理解

#### 岡 美穂子

9 月 7 日、前日の雨の状況により、この日はゼロでの練習でした。練習項目は 4 点。

1. セカンドビレイ 2. ラッペル 3. リードビレイ 4.

トップロープのビレイ です。

クライミング自体に慣れるのに時間がかかっている、まだ言葉の意味を理解することからというのが現状です。ということから、引用ですが記してみます。

#### ○トップロープ

トップロープとは、安全確保用のロープを、あらかじめ課題の最上部に設置してある終了点(カラビナ、アンカー等の確保支点)を通して、地面まで両方の末端を垂らした状態のこと。

二つの末端部分の片方をクライマーが結び、もう一方をビレイヤーが確保器を使って保持。

常に支点が上にあるので、クライマーが登るたびに弛んだロープをビレイヤーが引っ張ることにより、クライマーが途中で手を離してもその高さで静止する。

#### ○リードクライミング

トップロープと違い、クライマーが下からロープを壁に付けてあるカラビナに掛けながら登るスタイル。

クライマーが最後にロープを掛けたカラビナよりも上で落ちた場合、最後のカラビナから腰までの距離の 2 倍落ちる。実際にはロープのたるみや伸びがあるので、それ以上になる。書いてあればなるほどなのですが、まだよく理解できていないので、実技を数多くこなして身に付けたいです。

最後に、このスクールに入り一番大切にしたいと感じたことは、信じてもらえるビレイヤーになりたいということでした。道のりは長いですが、頑張りたいです。

#### 練習を積むことが大切

#### 東 美香

三倉山で 2 班に分かれての講習を行いました。1 班はマルチピッチの講習だったそうですが、私は 2 班で講習を受けたので、2 班のみの報告を行います。

内容は以下の通りです。

- ① クラックでの登り、復習。2 コース。
- ② ビレイとトップロープの復習。2 コース。
- ③ ロープワーク、その他。

講習会も終盤に入り、今までの復習となっているが、難易度が上がっているため、なかなか思うように上れませんでした。

①のクラックでの登りは、日頃登る機会が少ないこともあり、感覚がなかなかつかみにくかったのですが、手を挟み込んで登るとはこういうことなのだという感じが少しつかめたような気がします。経験をもつと積むことの必要性を痛感しました。

②のビレーとトップロープの登りについては、今までの練習の結果か、登ることができ、さらに少しずつ難易度を上げた練習を今後も継続してゆくと良いと思います。ビレーについては、常に危機意識を持って、練習を積むことが大切だと思いました。

③のその他については、結び方の復習、ラッピングの復習等を行いました。月に1回の講習会なので、なかなか覚えることが難しく、常に復習を行っていく心構えで今後も練習をしていきたいと思いました。来月が最終の講習会なので、今まで受けた講習についてもう一度思いおこし、総まとめにした研修会ができればよいなと思っています。

## 岳連短信

### 1、受贈御礼

- ①福山山岳会報 平成 25 年 10 月  
山行予告・山行計画・山行報告
- ②筆影 N0403・404 10月号・11月号  
三原山の会 行事予定・深入山報告・三原  
10名山ガイドブック発行ほか
- ③JAC Hiroshima  
公益法人日本山岳会広島支部報 第 49 号  
2013 年 10 月 1 日発行 32 頁  
ネパールヒマヤラへの道・山で遭難しないために(山登り十訓)ほか

### 2、東徹さん、日本山岳耐久レース優勝

第 21 回日本山岳耐久レース(10 月 13 日、14 日開催)で三原市職員の東徹さんが初出場で優勝した。大会は、世界的アルピニスト長谷川恒男の業績をたたえて始

まった。東京都あきる野市を発着点に奥多摩などの山間部 71,5 ㎞で競った。標高差は 1300mにも上る。ランナーは男女計 2579 人、完走したのは 2127 人。東さんは 20 ㎞付近から独走。これまでの大会記録を 3 分近く更新する 7 時間 19 分 13 秒でゴールした。東さんは「比婆山国際スカイラン」優勝の常連者である。

### 3、賛助会員のお願い

財政の強化のため賛助会員を募集しています。岳連の発展のためご協力をお願いします。

口数 個人 1口 (5,000 円) 以上

加盟団体・法人の場合 1口 (10,000 円) 以上

1、賛助いただける口数をお願いします。

2、申込書と申し込み口数を山岳連盟事務局までお届けください。

振込先：広島銀行 横川支店

(口座番号(普通) 014-3251234 加入者名

一般社団法人広島県山岳連盟会長 京オ 昭)

## 山の風景 35

### 小遠見山尾根 (北アルプス後立山連峰)

2013・8・24 写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書

を提出ください。随時掲載いたします。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美